

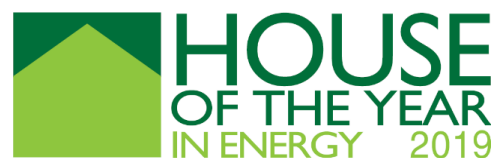
# 「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2019」において 3つの住宅シリーズでトリプル受賞 アキュラグループの高い省エネ性能が高評価

木造注文住宅を手がける株式会社アキュラホームグループ(本社:東京都新宿区、社長:宮沢俊哉)は、省エネルギー性の優れた住宅を表彰する「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2019」(主催:一般財団法人日本地域開発センター)において、省エネ・高気密・高断熱住宅の普及やZEH促進への取り組みが高く評価され、当社の住宅シリーズのうち2つが特別優秀賞、1つが優秀賞を受賞いたしました。

## ■「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2019」表彰制度とは

「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」表彰制度は、建物躯体と設備機器をセットとして捉え、トータルとしての省エネルギー性能やCO2削減等へ貢献する優れた住宅を表彰する制度です。

実際の施工物件のデータを提出し、3つの視点で審査がされます。住宅の断熱性能や暖冷房・換気等の設備効率、太陽光発電等も活用した創エネ・省エネ住宅の普及取組姿勢など、総合的な評価が求められます。



### 評価の視点

- 視点1 : 外皮・設備の省エネルギー性能値
- 視点2 : 多様な省エネルギー手法の導入および健康、快適性 その他の取り組み
- 視点3 : 省エネルギー住宅の普及への取り組み

## ■特別優秀賞「MIRAI ZEH」「MIRAI ZEH+」(※1)、優秀賞「Coco-ie」のトリプル受賞

アキュラホームグループでは、暮らして使用する電気エネルギーが実質ゼロの住宅である「MIRAI ZEH」「MIRAI ZEH+」の他、昨年は太陽光発電と電気自動車の連携による全館空調費・光熱費・燃料費のランニングコスト0円の「ミライの家 Rei」など、地球環境保護の取組としてゼロエネルギー住宅の普及に積極的に取り組んでいます。

アキュラホームグループの住まいは、家全体の断熱性を示す「UA値」が省エネ基準0.87(※2)を上回る値0.6以下となる「省エネ」性能と太陽光発電システムによる「創エネ」、エネファームや蓄電池を活用した「蓄エネ」を組み合わせることで、ライフサイクルコストを抑えたエネルギー収支ゼロの住まいを実現できます。

今後も、家計にも環境にも優しい住まいの普及に取り組んでまいります。



(※1)「MIRAI ZEH」、「MIRAI ZEH+」は期間限定商品のため、現在は販売していません。同性能の住宅を、現在の仕様にてご提案させていただいております。

(※2)省エネ地域区分5~7地域の基準値。UA値は、数値が低いほど断熱性能が高いことを示す。単位:W/m<sup>2</sup>・K

<本件について報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社アキュラホーム 広報課 堀越・西口・山本

TEL :03-6302-5010 FAX :03-5909-5570 Email: [aqura\\_pr@aqura.co.jp](mailto:aqura_pr@aqura.co.jp)

●アキュラホーム HP <http://www.aqura.co.jp>